

部活動に関するQ & A

Q：来年度の各中学校の部活動の開設状況（種目・競技）はどうなりますか？

A：9月下旬以降各校で開催される入学説明会や学校刊行物（学校だより等）で説明されます。部活動の活動日や活動時間は縮小化しますが、種目によっては他校との合同チームでの参加や多様な経験が可能な総合運動部、総合文化部への転換など、新たな部活動の創設も検討されています。各校から発信される部活動情報を確認のうえ、入部を検討してください。

Q：部活動はどのように変わるのですか？

A：スポーツ庁や文化庁の有識者会議では、次期中学校学習指導要領の改訂で部活動の見直しを提言しています。現在、部活動は教育課程外の活動ではあるが、「学校教育の一環」として位置づけられているため、「学校が必ず設置・運営し、教師が指導しなければならない」という誤解が生じています。部活動は段階的に地域に移行し、縮小していくと考えられます。今後は、地域指導者による地域クラブ活動となり、生徒は主体的に活動を選択し参加するようになります。

Q：費用負担（指導者への謝金及び移動費等）についてはどのように考えますか？

A：基本的には受益者負担となります。これまで部活動は、教員の献身的な指導により指導料が発生せず比較的低額で活動できていましたが、地域クラブでは所属するスポーツ団体等に会費を支払うため、部活動の部費と比べて金額が高くなることが予想されます。今後については、国の補助制度も含めて検討していく必要があると考えています。

Q：教育面での「地域移行」のメリットは何ですか？

A：地域クラブへの移行は、中学生がこれまで与えられた枠の中で活動していた放課後や休日の時間を、学習、スポーツ、文化活動などを含め、自分で主体的に考え、判断するきっかけにしたいと考えています。学校としても生徒への多様な支援を充実させ、子どもたちの将来に役立つような活動を推進します。この取り組みが学校教育全体に貢献するよう努めます。

Q：地域クラブ活動中の事故は誰が対応するのですか

A：地域クラブの活動主体は各活動団体となるため、事故等が発生した場合（施設・設備の不備等による場合を除く）、基本的には各活動団体が責任を負うことになります。そのため、万が一の事故に備えて、参加する生徒だけでなくスタッフも原則として保険に加入することを推奨していきます。

Q：教員は地域クラブに関与しなくなるのですか？

A：これまでのような「部活動の顧問」としての教員の関わりはなくなります。しかし、生徒への指導を希望する教員は、兼職兼業の許可を受けて地域クラブに参加できるよう制度を整える予定です。子どもたちのニーズは変化しており、活動時間帯もこれまでと異なるため、希望する教員には無理のない範囲で参画してもらいたいと考えています。